

【薬局薬剤師】

【アクションプランとの比較】（令和5年度第1回 医薬品適正販売対策部会 資料2）

	薬局薬剤師の業務及び薬局の機能に関するワーキンググループとりまとめ ～薬剤師が地域で活躍するためのアクションプラン～（令和4年7月11日）	【部会での検討項目案】 ○ 薬剤師が担う業務 ・ 具体的な取組	【部会での検討項目案】 ● 担う業務に必要な知識・経験等 ・ 具体的な取組
1	<p>○ 対人業務に必要なスキル習得</p> <p>・ 対人業務の実施に当たっては、患者の状態の把握やそれに応じた様々な対応が求められることとなる。新しい医薬品が次々に承認される中で、薬物療法の専門家として医薬品情報を総合的に把握した上で、添付文書のみならず、ガイドライン等を示された使用方法との比較や、患者にとって問題のない薬剤であるかという点についても確認することが重要である。このように、日進月歩の薬学的知識の習得等を継続的に行っていく必要がある。</p>	<p>○ 医薬品情報・安全性情報の収集 ・ PMDAやメーカー等から情報収集</p>	<p>● 収集した情報の理解に必要な知識 ・ 卒後教育への参加</p>
2	<p>● 薬剤レビュー</p> <p>○ リフィル処方箋への対応</p> <p>○ 院外処方箋における事前の取決め（プロトコル）に基づく問合せ簡素化</p> <p>○ ICTの活用</p> <p>○ オンライン服薬指導</p> <p>○ 電子処方箋</p> <p>○ 薬局薬剤師DX（医療機関への効率的かつ効果的なフィードバック等）</p>	<p>○ 医療用医薬品の調剤・服薬指導等 ・ 処方確認 ・ 疑義照会 ・ 服薬指導</p>	<p>● 調剤・服薬指導に必要な知識・経験 ・ 関係団体等実施の研修会参加</p>
3	<p>○ 調剤後のフォローアップ</p> <p>○ コミュニケーションスキルの向上（対人業務に必要なスキル）</p> <p>○ データ連携基盤（電子版お薬手帳等）の活用</p>	<p>○ 患者等からの情報収集 ・ 疾患やアレルギー歴等の情報収集</p>	<p>● 患者情報の聞き取り方法 ・ コミュニケーション力の養成</p>
4	<p>○ 医薬品関連情報の発信</p> <p>○ 薬事衛生（医薬品・医療機器の正しい使い方の説明等）</p>	<p>○ 適正使用に関する情報提供 ・ 患者向けガイド等を活用した説明</p>	<p>● 患者の理解が進む情報提供方法 ・ メーカー等による資料の活用</p>
5	<p>○ 他職種及び病院薬剤師との連携（薬薬連携）</p> <p>○ かかりつけ薬剤師・薬局との関係</p>	<p>○ 医療関係者等との連携（地域連携） ・ 退院時カンファレンス参加 ・ 在宅</p>	<p>● 地域医療関係者との連携 ・ 地域の会議等への参加</p>
6	<p>○ 健康サポート機能の推進（必要に応じた受診勧奨の実施、PHRの活用）</p> <p>○ 地域の実情に応じた薬剤師サービス等の提供体制の検討</p>	<p>○ 副作用が疑われる場合の対応 ・ 受診勧奨 ○ 健康サポート ・ 健康の維持、増進に関する取組</p>	<p>● 健康情報の収集と意識 ・ 地域の会議等への参加</p>

⇒ **薬剤レビューは、薬局薬剤師求められる多くの項目に関連**